
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2009年第42週
(10月12日～10月18日)

- * 2009年10月21日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2009年9月)の疾患も掲載しています。

平成21(2009)年10月22日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2009年42週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		39週	40週	41週	42週	年累計	42週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	33	64	62	32	3231	214	20770
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ					2	1	11
	細菌性赤痢	1	1	1	2	38	5	142
	腸管出血性大腸菌感染症	7	5	6	4	271	54	3187
	腸チフス					10		22
	パラチフス	1	1	1	1	11	1	20
四類	E型肝炎					6	2	40
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1		1	18		99
	エキノコックス症					1		18
	黄熱							
	オウム病					1	1	18
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱					1		2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病				1	3	2	114
	デング熱		1	2	1	26	2	66
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							77
	日本脳炎							1
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症			1		1		2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア	1	1	2	1	24	1	52
	野兔病							
ライム病					1	1	6	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1				43	12	535	
レプトスピラ症							12	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		39週	40週	41週	42週	年累計	42週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	1	5	3	2	114	5	636
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)			1		29	1	174
	急性脳炎 *2		2	4	1	26	8	234
	クリプトスポリジウム症				1	2		13
	クロイツフェルト・ヤコブ病					12	1	105
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					9		87
	後天性免疫不全症候群	5	5	8	7	386	11	1148
	ジアルジア症	1				19		61
	髄膜炎菌性髄膜炎					1		9
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	2	3	2	4	161	4	553
	破傷風		1			6	2	97
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1			11		77
	風しん	1	1	1	1	17	1	137
麻しん		4	2	1	101	1	672	
新型※	新型インフルエンザ ※2 ※3	—	—	—	—	1187	—	5038
2009/10/21計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※新型インフルエンザ等感染症 ※2 2009年4月28日に指定された。2009年4月28日から7月23日の期間は全数届出。

2009年7月24日から8月24日の期間は集団発生事例に関連した届出。

※3 全国集計は7月24日6:00現在の国内発生の累計値(検査対象者を含まない。)

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 32件 肺結核20件、その他の結核4件、肺結核及びその他の結核3件、無症状病原体保有者4件、疑似症患者1件で、推定感染地は全て国内、年齢は20歳代5件、30歳代4件、40歳代6件、50歳代3件、60歳代4件、70歳代4件、80歳代5件、90歳代1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 2件 どちらも患者で、菌種はフレキシネル1件、ソネ1件である。推定感染地は国内1件、インド1件、推定感染経路は飲食物(生野菜)による経口感染1件、その他(不明)1件であった。

腸管出血性大腸菌感染症 4件 患者2件、無症状病原体保有者2件。血清型・毒素型はO157(VT1VT2)2件、血清型不明(VT2)1件、血清型不明(毒素型不明)1件。年齢は10歳未満1件、30歳代2件、40歳代1件で、10歳未満1件(血清型及び毒素型不明)はHUSの発症があった。

パラチフス 1件 患者で、推定感染地はインド、推定感染経路は飲食物(ラッシー)による経口感染であった。

〈四類感染症〉

A型肝炎 1件 推定感染地は国内で、感染経路は飲食物による経口感染であった。

つつが虫病 1件 推定感染地は静岡県(御殿場)であった。

デング熱 1件 推定感染地はインド(デリー)である。

マラリア 1件 熱帯熱マラリアで、推定感染地はガーナであった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 腸管アメーバ症1件、腸管及び腸管外アメーバ症1件で、推定感染地はどちらも国内、感染経路は性的接触(異性間)1件、その他(不明)1件であった。

急性脳炎 1件 病原体は新型インフルエンザウイルスで、年齢は10歳代であった。

クリプトスポリジウム症 1件 推定感染地はタイ・エチオピア・エジプトで、推定感染経路は飲食物による経口感染及び水系感染であった。

後天性免疫不全症候群 7件 無症候キャリア5件、AIDS1件、その他1件で、無症候キャリアおよびその他の年齢は30歳代5件、40歳代1件、AIDS患者の年齢は40歳代である。全て推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(同性間6件、不明1件)であった。

梅毒 4件 早期顕症梅毒Ⅰ期1件、早期顕症梅毒Ⅱ期2件、無症候1件で、全て推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(同性間2件、異性間1件、不明1件)であった。

風しん 1件 検査診断例で、年齢は40歳代、風しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

麻しん 1件 麻しん(臨床診断例)で、年齢は5歳未満。麻しん含有ワクチン接種歴は無しであった。

※第41週該当分として、三類 腸管出血性大腸菌感染症 1件(無症状病原体保有者、O157VT1VT2)、五類 後天性免疫不全症候群 1件(その他、同性間性的接触)、梅毒 1件(早期顕症梅毒Ⅱ期、異性間性的接触)の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2009年42週

定点種別	対象疾患	2009年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		39週	40週	41週	42週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	7	13	14	12	0.08	149	150
	咽頭結膜熱	6	4	6	5	0.03		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	87	105	98	0.66		
	感染性胃腸炎	232	327	312	315	2.11		
	水痘	45	60	50	47	0.32		
	手足口病	75	65	106	119	0.80		
	伝染性紅斑	7	11	16	21	0.14		
	突発性発しん	62	104	83	78	0.52		
	百日咳	4	7	4	0	0.00		
	ヘルパンギーナ	61	39	46	32	0.21		
	流行性耳下腺炎	93	107	85	81	0.54		
	不明発しん症 (注1)	10	8	4	5	0.03		
MCLS(川崎病) (注1)	2	1	2	1	0.01			
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	1,896	2,794	5,391	6,415	22.20	289	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	2	1	1	0.03	39	39
	流行性角結膜炎	10	15	16	12	0.31		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	1	2	0	0	0.00	21	24
	無菌性髄膜炎	0	0	1	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	3	7	2	9	0.43		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	0	0	0	0.00		

2009/10/21集計

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

・インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続して増加した。過去5年平均の同時期と比較して依然として多く、引き続き注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

* インフルエンザに関するコメントは13～14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2009年42週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	2			3	1	1		1		
～11か月	4	1		20	7	12	1	39		1
1歳	5	3	3	38	5	36		30		7
2歳	1		1	31	11	22	1	5		10
3歳		1	6	25	5	20	2			4
4歳			11	19	7	10	4	1		2
5歳			11	16	5	7	7	1		2
6歳			13	17	4	5	2	1		2
7歳			16	22	2	2	2			1
8歳			11	12		1				2
9歳			8	12		1				1
10～14歳			10	47		2				
15～19歳				8						
20～29歳			8	45			2			
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	12	5	98	315	47	119	21	78		32
先週比	-2	-1	-7	3	-3	13	5	-5	-4	-14

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1		5		
～11か月	1	1		29		
1歳	4	3	1	85		
2歳	8			100		
3歳	9			154		
4歳	16			242		
5歳	12			300		
6歳	8			369		
7歳	5			457		
8歳	1			449		
9歳	5			463		
10～14歳	6			2269		
15～19歳				631		1
20～29歳	6			278		3
30～39歳				276	1	5
40～49歳				262		1
50～59歳				30		1
60～69歳				12		
70～79歳				4		1
80歳以上						
合計	81	5	1	6415	1	12
先週比	-4	1	-1	1024		-4

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2009年42週

	風しん	麻しん
0歳		1
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳	1	
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	1

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2009年42週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	1					2				
中央区			2		6			1		
みなと	5	1		14		11		4		
新宿区			2	1	1	1		3		
文京						2				
台東			3	19		2		4		
墨田区				4		7		4		
江東区	1		10	18	1	3		1		3
品川区	1		6	20		5		5		2
目黒区				3		2		1		
大田区	1	1	2	28	3	11	2	5		6
世田谷			6	3		6		1		
渋谷区			1	4	1	2				
中野区			1	40		2		2		2
杉並				14	1			3		
池袋				4				1		
北区			1	2		4	1	1		
荒川区			2	5		4		1		
板橋区				11				1		1
練馬区			3	8	2	4		3		
足立				14	2	6		3		
葛飾区			1	2	6	11	6	2		1
江戸川		1	12	11	4	4	5	6		2
八王子市	2		12	27	5	5	1	3		6
西多摩		1	1	9	1	2		1		
南多摩			2	11	2	1		2		
町田			19	23	6	2	5	5		7
多摩立川				6	1			1		
多摩府中			1	2		7		9		
多摩小平	1	1	9	12	5	9	1	5		2
島しょ			2			4				
東京都合計	12	5	98	315	47	119	21	78	-	32

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2009年42週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				22		
中央区				45		
みなと	3			121		
新宿区			1	126		2
文京				78		
台東				73		
墨田区				110		1
江東区	3			203		
品川区	3			105		
目黒区				42		
大田区	4			350		
世田谷	3			473		1
渋谷区				57		1
中野区	5			200		
杉並				229		
池袋				150		
北区	2			162		
荒川区				65		
板橋区				122		1
練馬区	5	1		262		
足立	1			231		1
葛飾区	10	1		254	1	
江戸川	4	1		380		
八王子市	9			258		
西多摩	7			196		1
南多摩	3			287		1
町田	9	2		448		
多摩立川	1			250		
多摩府中	5			651		2
多摩小平	4			463		1
島しょ				2		

東京都合計	81	5	1	6,415	1	12
-------	----	---	---	-------	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区	1	
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		1
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	1	1
-------	---	---

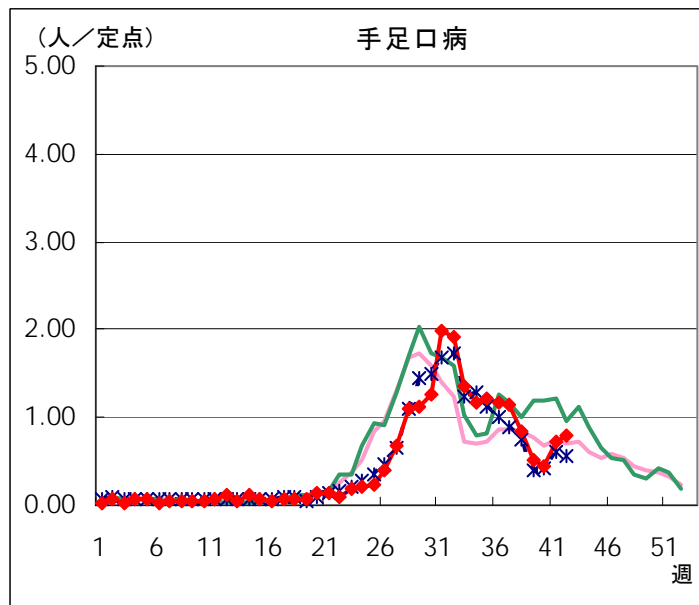
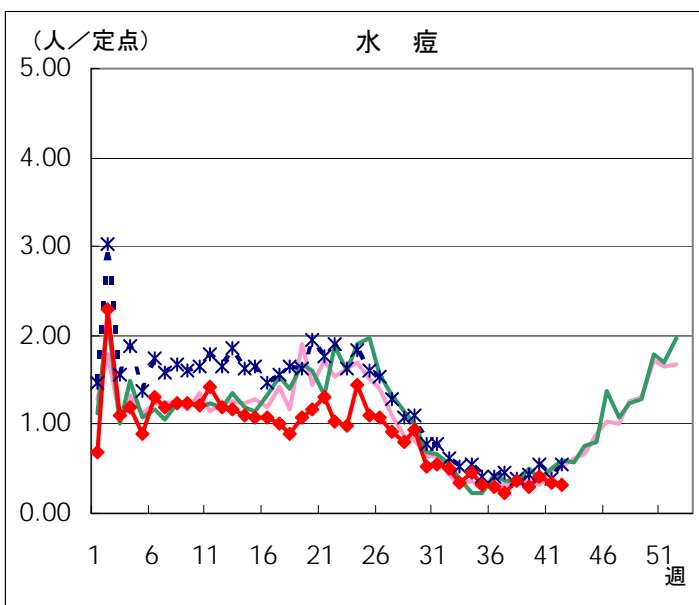
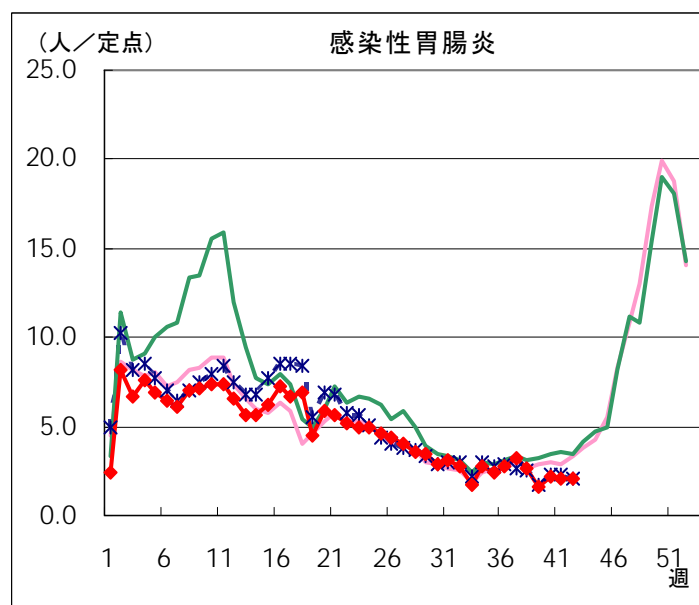
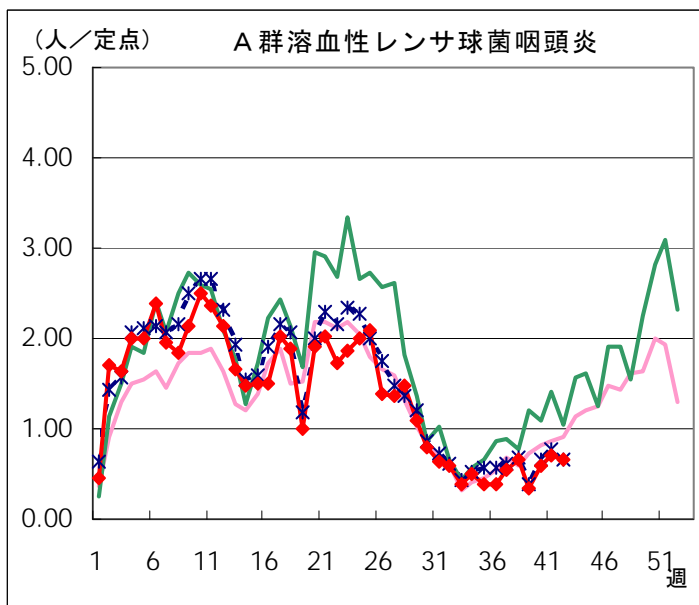
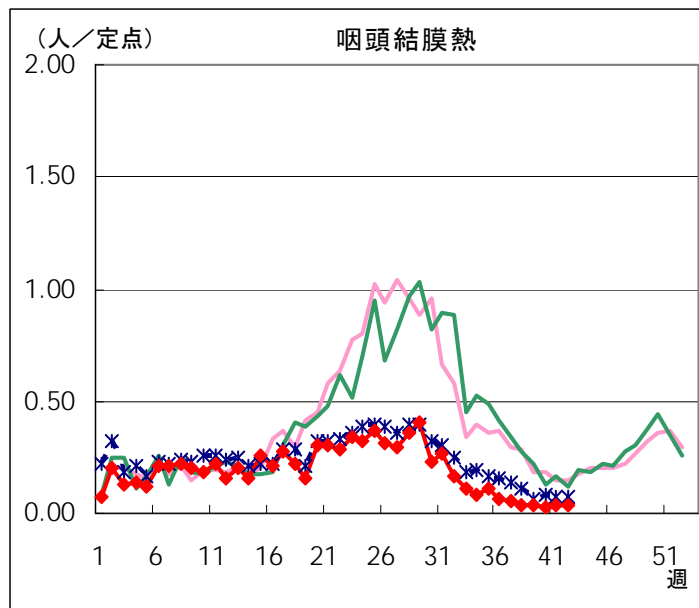
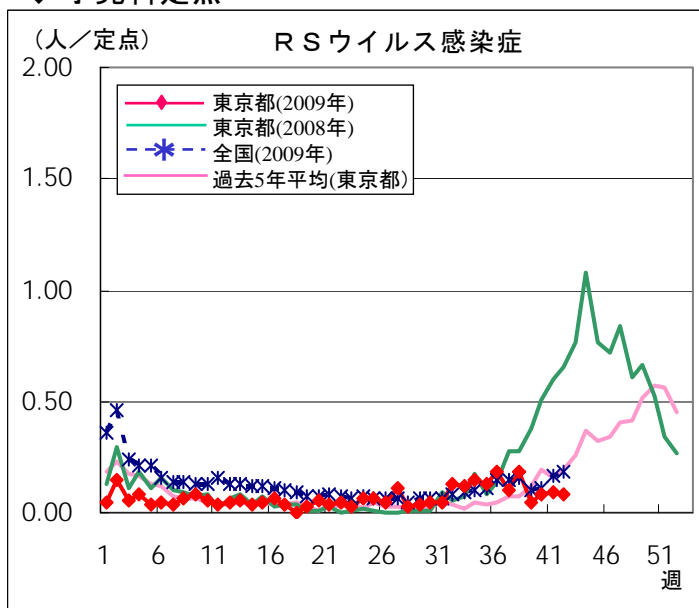
定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2009年42週

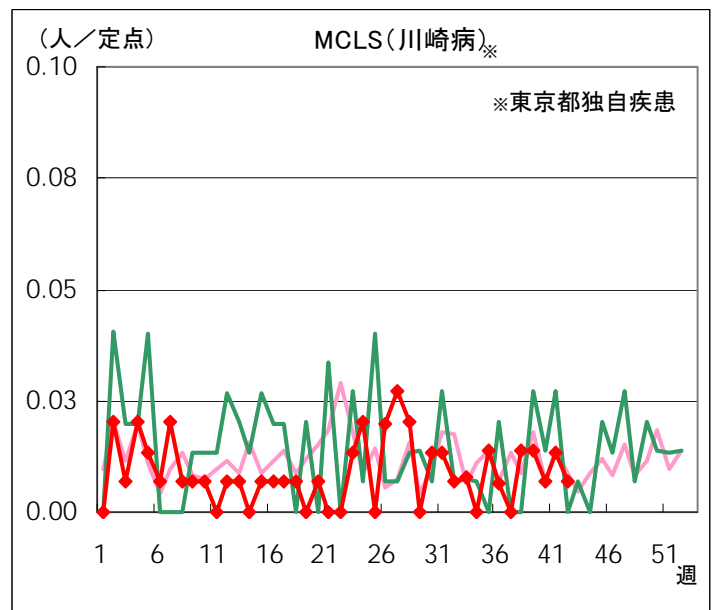
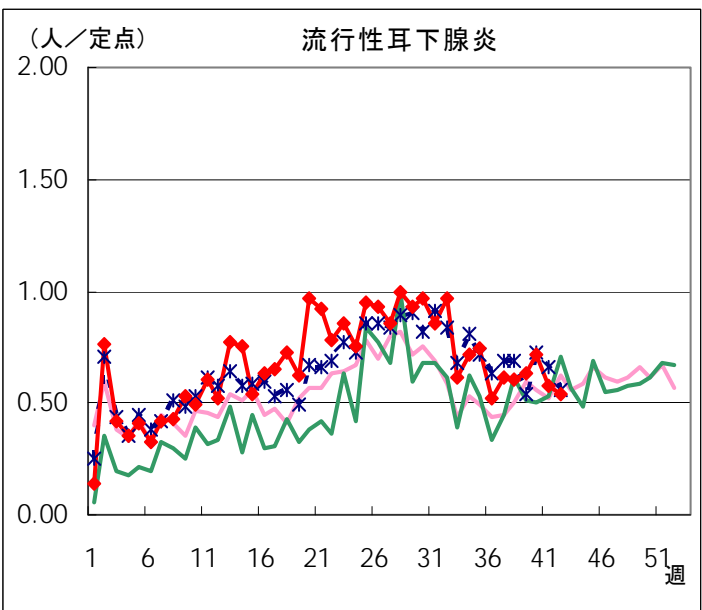
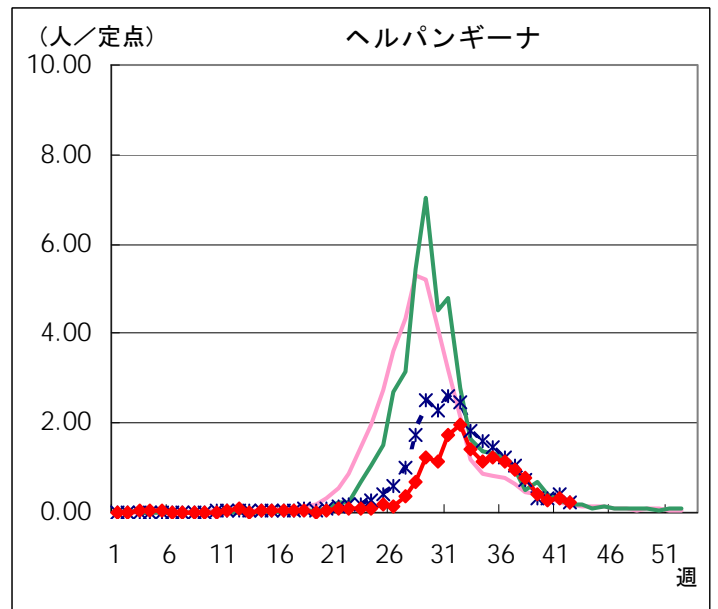
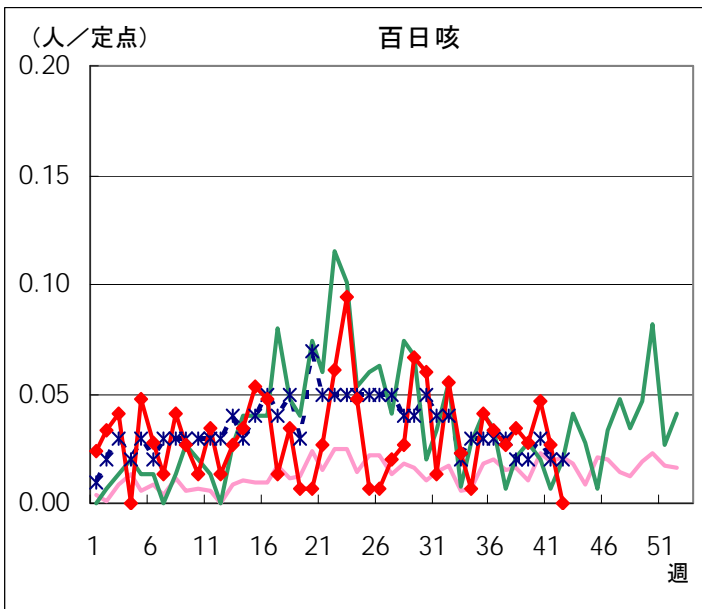
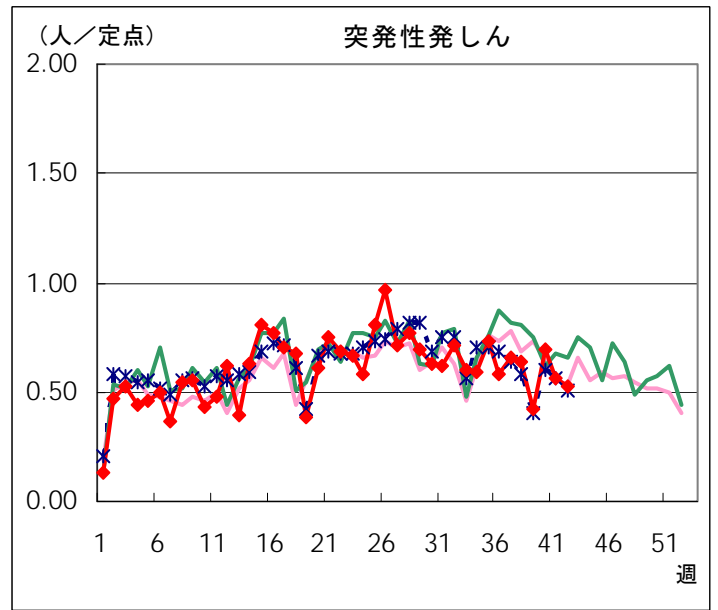
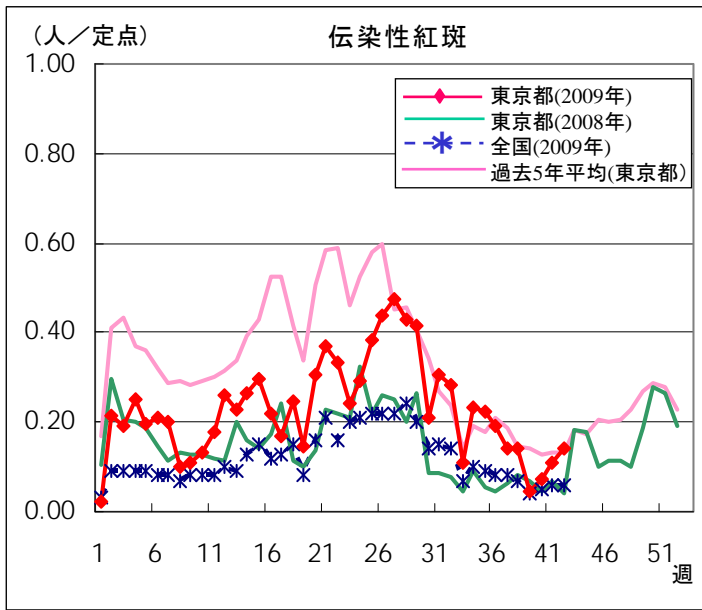
定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	0.33					0.67				
中央区			0.67		2.00			0.33		
みなと	0.83	0.17		2.33		1.83		0.67		
新宿区			0.33	0.17	0.17	0.17		0.50		
文京						0.67				
台東			1.00	6.33		0.67		1.33		
墨田区				1.33		2.33		1.33		
江東区	0.25		2.50	4.50	0.25	0.75		0.25		0.75
品川区	0.17		1.00	3.33		0.83		0.83		0.33
目黒区				1.00		0.67		0.33		
大田区	0.11	0.11	0.22	3.11	0.33	1.22	0.22	0.56		0.67
世田谷			0.75	0.38		0.75		0.13		
渋谷区			0.25	1.00	0.25	0.50				
中野区			0.17	6.67		0.33		0.33		0.33
杉並				2.33	0.17			0.50		
池袋				0.80				0.20		
北区			0.25	0.50		1.00	0.25	0.25		
荒川区			1.00	2.50		2.00		0.50		
板橋区				1.83				0.17		0.17
練馬区			0.60	1.60	0.40	0.80		0.60		
足立				2.80	0.40	1.20		0.60		
葛飾区			0.25	0.50	1.50	2.75	1.50	0.50		0.25
江戸川		0.20	2.40	2.20	0.80	0.80	1.00	1.20		0.40
八王子市	0.50		3.00	6.75	1.25	1.25	0.25	0.75		1.50
西多摩		0.20	0.20	1.80	0.20	0.40		0.20		
南多摩			0.50	2.75	0.50	0.25		0.50		
町田			4.75	5.75	1.50	0.50	1.25	1.25		1.75
多摩立川				1.00	0.17			0.17		
多摩府中			0.10	0.20		0.70		0.90		
多摩小平	0.17	0.17	1.50	2.00	0.83	1.50	0.17	0.83		0.33
島しょ			2.00			4.00				
東京都	0.08	0.03	0.66	2.11	0.32	0.80	0.14	0.52	-	0.21

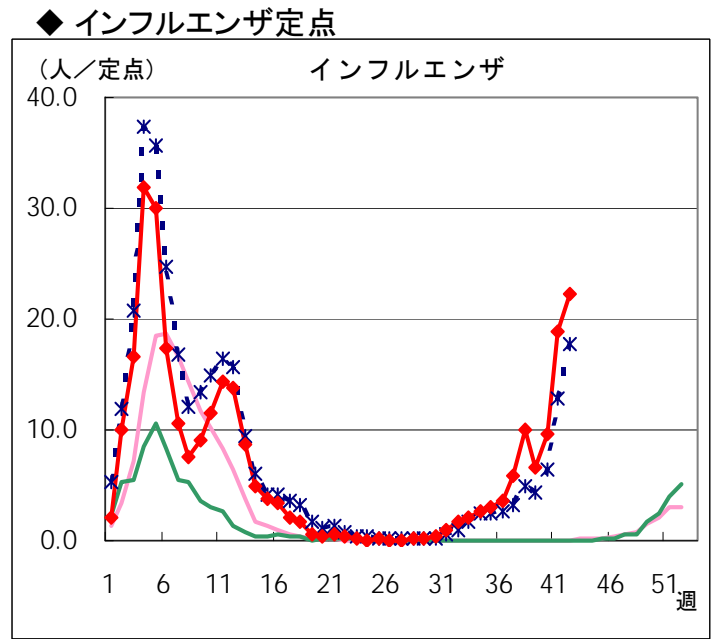
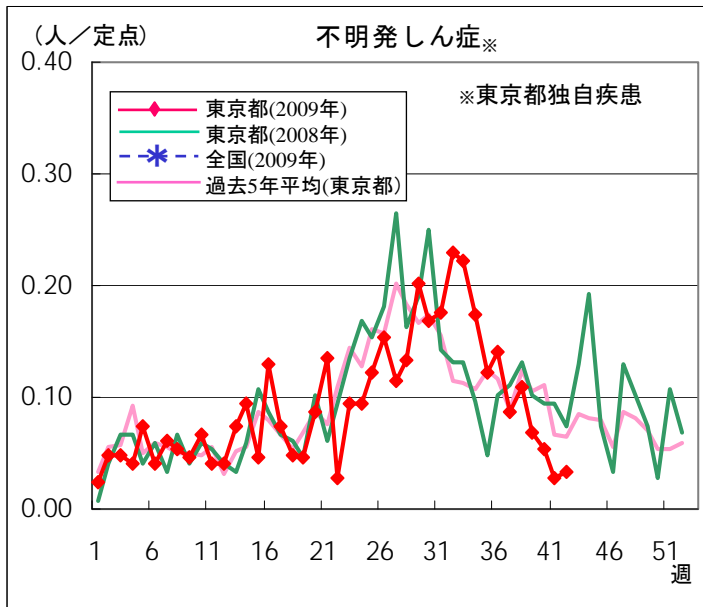
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				5.50		
中央区				11.25		
みなと	0.50			15.13		
新宿区			0.17	14.00		1.00
文京				15.60		
台東				14.60		
墨田区				18.33		1.00
江東区	0.75			22.56		
品川区	0.50			10.50		
目黒区				7.00		
大田区	0.44			21.88		
世田谷	0.38			29.56		0.50
渋谷区				9.50		
中野区	0.83			22.22		
杉並				19.08		
池袋				18.75		
北区	0.50			20.25		
荒川区				16.25		
板橋区				10.17		0.50
練馬区	1.00	0.20		21.83		
足立	0.20			19.25		0.50
葛飾区	2.50	0.25		28.22	1.00	
江戸川	0.80	0.20		31.67		
八王子市	2.25			25.80		
西多摩	1.40			21.78		1.00
南多摩	0.75			31.89		1.00
町田	2.25	0.50		49.78		
多摩立川	0.17			19.23		
多摩府中	0.50			31.00		0.67
多摩小平	0.67			33.07		0.50
島しょ				1.00		
東京都	0.54	0.03	0.01	22.20	0.03	0.31

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2009年42週現在

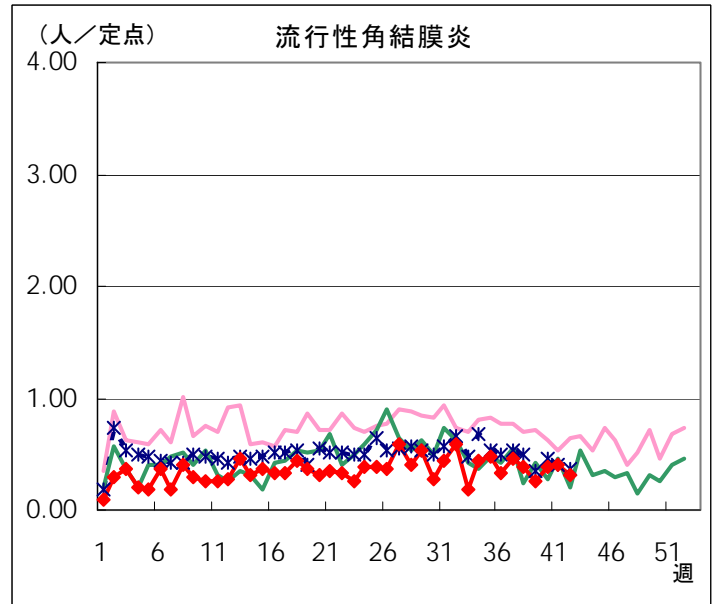
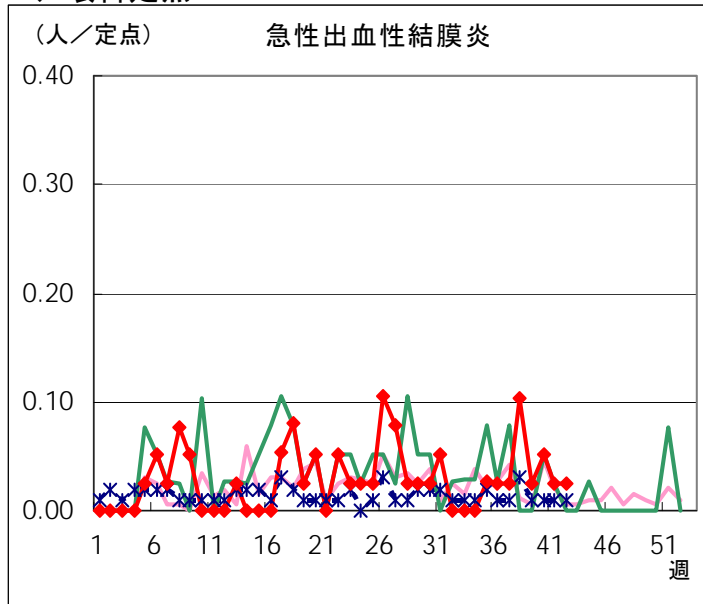
◆ 小児科定点



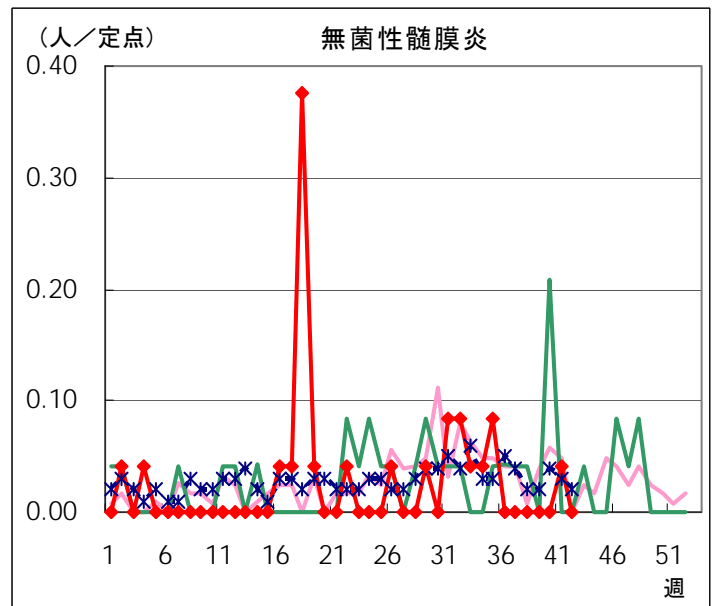
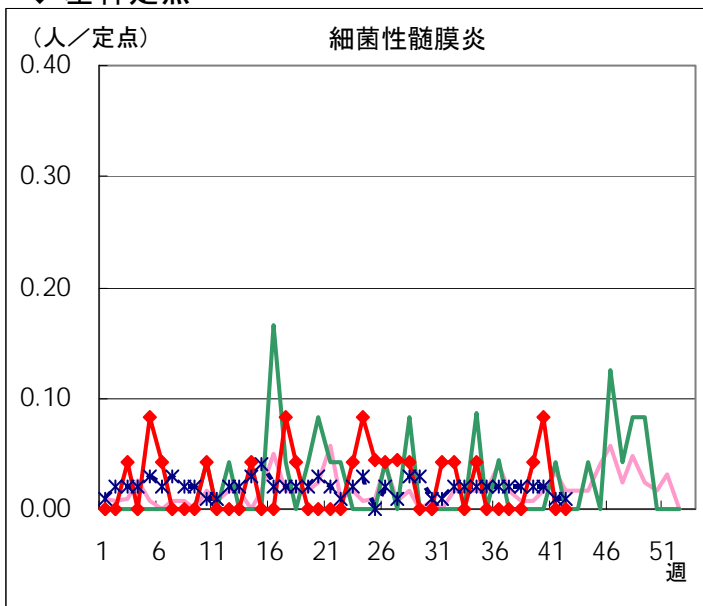


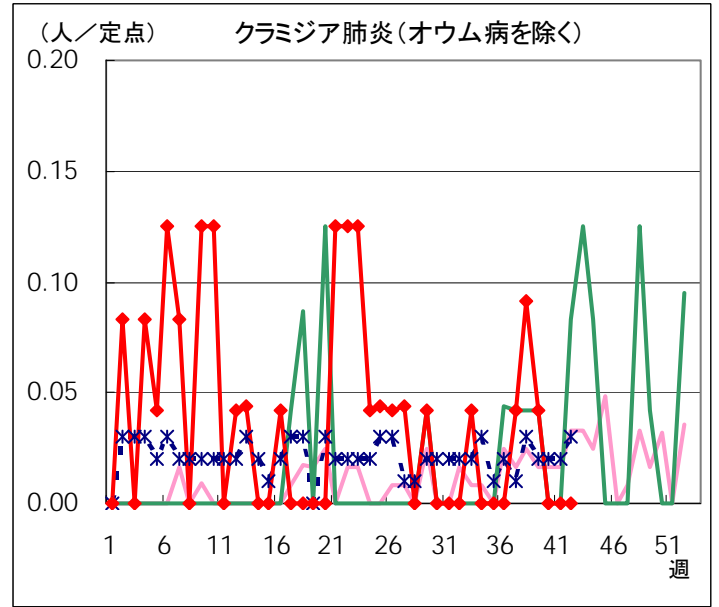
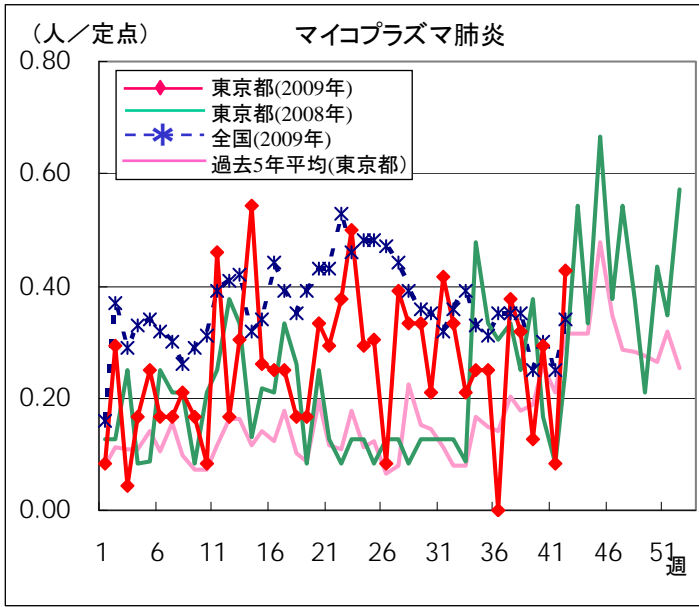


◆ 眼科定点

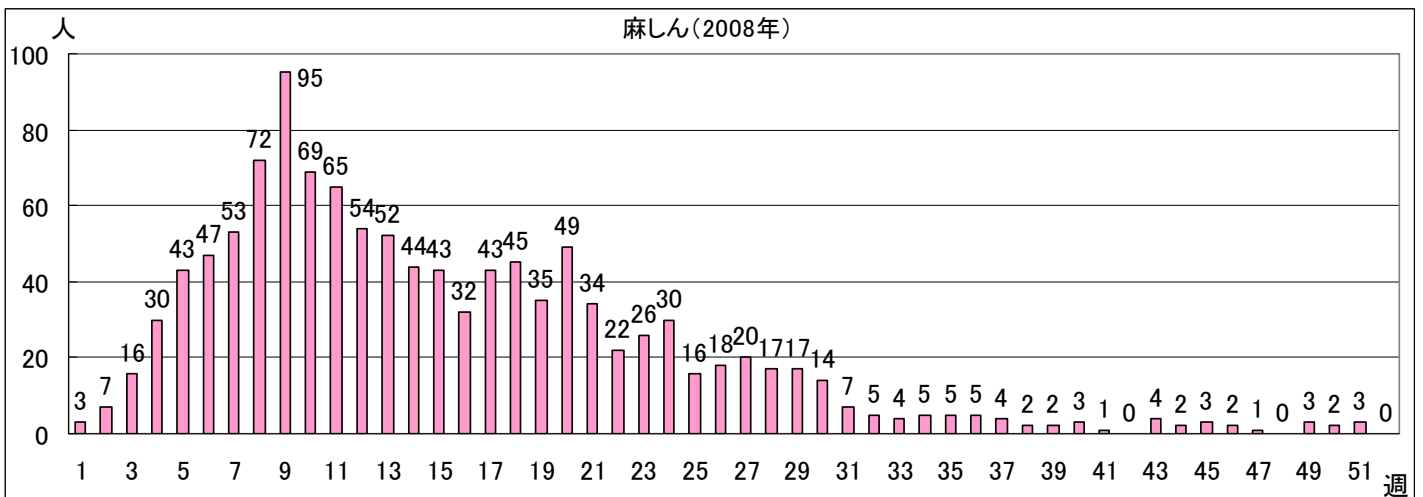
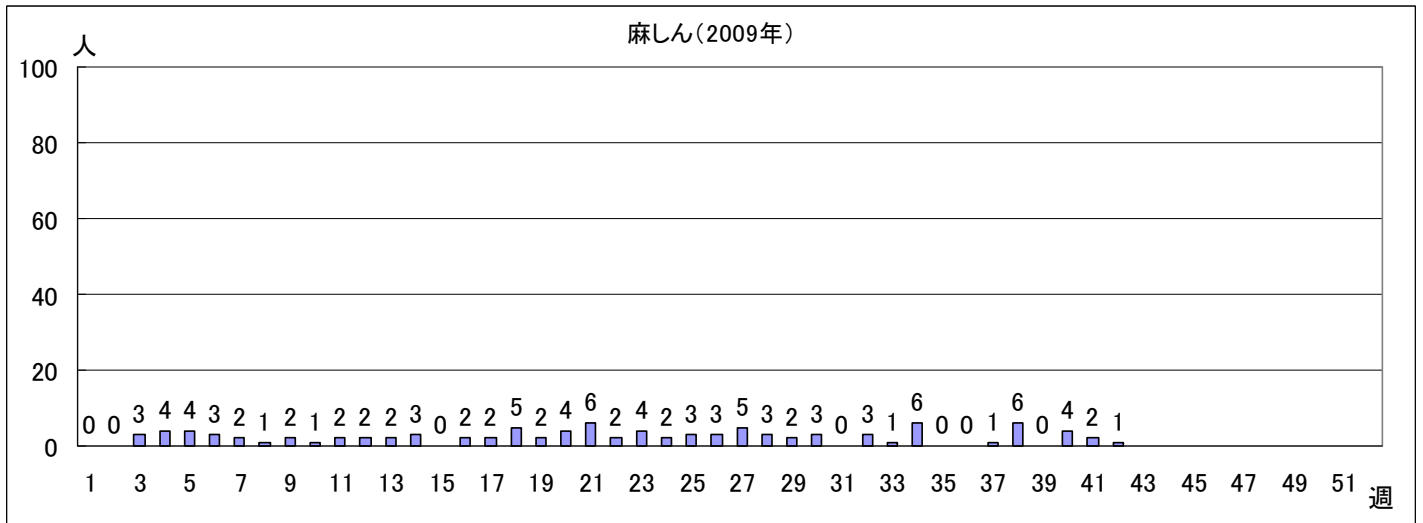


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2009年42週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果等に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと	15		
	52	1	
新宿区	17		
	10		2歳児がA型およびB型。
台東	17		
江東区	35	1	
	33		
品川区	9		
	12	1	
	7		
目黒区	8		
	19		
	9		
大田区	33		
	8		
	9		
	8		
	40		
世田谷区	5		
	4		
	2		
	27		
中野区	22		臨床症状や状況からインフルエンザと考えられるもの3名。
	4		
	73		
	17		
	19		
	20		患者21名。
	3		
	10		
	23		型不明5名。
池袋	20		
	29		
	11		

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
北区	58		インフルエンザすべてA型、新型と考えられます。
			患者19名。インフルエンザは軽症の方が多いようです。簡易検査の結果にはばらつきがあり、実数はさらに多いと思われます。
	10		
			患者21名。かなり増えてます。月曜日休診でも29名と増加しています。
	7		
西多摩	1		患者2名。
	78		
多摩立川	8		
多摩府中	19		
	2		新型インフルエンザ疑い。
	22		
	15		
	106		
多摩小平	28		
	16		
	47		
	29		
	16		
	15		
八王子市	39		4名は不明です。
	4		
	16		
	9		
	56		
	63		

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
8/25	百日咳	0	菌株(喉頭由来)	<i>B.pertussis</i>	遺伝子
9/20	髄膜炎、突発性発しん	9M	髄液	ムンプスウイルス	
9/23	RSウイルス感染症	3	咽頭拭い液	RSウイルス	
10/3	結膜炎	59	眼脂	アデノウイルス	
10/3	咽頭炎	3M	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
10/5	不明発しん症	6M	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
10/5	出血性腸炎	4	糞便	エンテロウイルス	
10/6	インフルエンザ疑い	7	鼻汁	ライノウイルス	
10/6	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
10/6	手足口病	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
10/7	気管支喘息	2	咽頭拭い液	ライノウイルス	
10/7	脳炎	3	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
			鼻汁		
10/7	無菌性髄膜炎	21	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
			髄液		
10/8	急性気管支炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス	
10/9			咽頭拭い液	アデノウイルス	

◇定点医療機関から搬入された検体の遺伝子検査法による亜型

亜型検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型)
41週	0	0	0	51
今シーズン累計**	1	0	0	192

* AH1pdm: 新型インフルエンザウイルス(ブタ由来インフルエンザウイルスA/HINI)

**新シーズン(2009-2010シーズン)の開始は36週。

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2009年							
		34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週
ウイルス	アデノウイルス	4	1	5	3		4	3	3
	ライノウイルス		2	3	8		5	2	3
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群				1				
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71				2				
	その他のエンテロウイルス	11	10	7			8	3	2
	単純ヘルペスウイルス		1	1					
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	4	3				3	1	3
	EBウイルス	1		1	3		4		
	サイトメガロウイルス	1			2			1	2
	ムンプスウイルス	2					1		3
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19						1		
	RSウイルス				1		6		1
	ノロウイルス				2				
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1		1	1					
	インフルエンザウイルスAH3		2						
	インフルエンザウイルスB								
	新型インフルエンザウイルスAH1pdm	25	25	16	35	37	31	22	51
	デングウイルス(抗体を含む)	1	1	2					
	その他のウイルス								
細菌	カンピロバクター		2						
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌			2	3				
	その他の細菌							1	
その他の病原体							2		

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2009年34週～2009年41週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	273	27	59	28	32	4		5	3	11	3	13	5		2	1	114	
ウイルス	アデノウイルス	2		8	1			3		3						1	4	
	ライノウイルス	5	1	7			1			1		2					5	
	ポリオウイルス			1													1	
	コクサッキーウイルスA群	1																
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71			1					1									
	その他のエンテロウイルス	3	7	5	1	2	1		1	9		5					7	
	単純ヘルペスウイルス																	2
	水痘・帯状疱疹ウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7		1	1						1		4	1					6
	EBウイルス								2			2	2					3
	サイトメガロウイルス		1		1					1		1					1	1
	ムンプスウイルス					3								3				
	麻疹ウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											1						
	RSウイルス			8														
	ノロウイルス																	2
	ロタウイルス																	
インフルエンザウイルスAH1	2																	
インフルエンザウイルスAH3	2																	
インフルエンザウイルスB																		
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	240		2															
デングウイルス(抗体を含む)																	4	
その他のウイルス																		
細菌	カンピロバクター				2													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌		5															
その他の細菌			1															
その他の病原体			2															

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2009年9月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	114	2.07	55	55
		女	95	1.73		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	51	0.93		
		女	39	0.71		
	尖圭コンジローマ	男	51	0.93		
		女	19	0.35		
	淋菌感染症	男	67	1.22		
		女	13	0.24		
	膺トリコモナス症*	男	0	0.00		
		女	13	0.24		
梅毒様疾患	男	9	0.16			
	女	0	0.00			
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	62	2.70	23	24
		女	42	1.83		
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	24	1.04		
		女	10	0.43		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	1	0.04		
		女	0	0.00		
2009/10/21						

* 性感染症定点から報告される『膺トリコモナス症』とは、原虫の一種である膺トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膺、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2009年9月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	2			2		
20～24歳	14	1	2	11		
25～29歳	21	8	6	13		1
30～34歳	24	7	12	13		3
35～39歳	12	8	10	11		3
40～44歳	19	7	13	7		1
45～49歳	6	7	4	3		
50～54歳	8	2	2			
55～59歳	5	3		4		1
60～64歳	2	3	1	1		
65～69歳		2	1	2		
70歳～	1	3				
合 計	114	51	51	67		9
先月数	119	55	47	76		6
増減数	-5	-4	4	-9		3

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳	1					
15～19歳	15	1	1	3		
20～24歳	28	6	5	4	4	
25～29歳	19	10	5	3	2	
30～34歳	17	6	2		3	
35～39歳	9	7	4	2	1	
40～44歳	3	2	1		1	
45～49歳	1					
50～54歳	1	1		1		
55～59歳		1				
60～64歳		2			1	
65～69歳	1	1				
70歳～		2	1		1	
合 計	95	39	19	13	13	
先月数	88	38	11	14	7	1
増減数	7	1	8	-1	6	-1

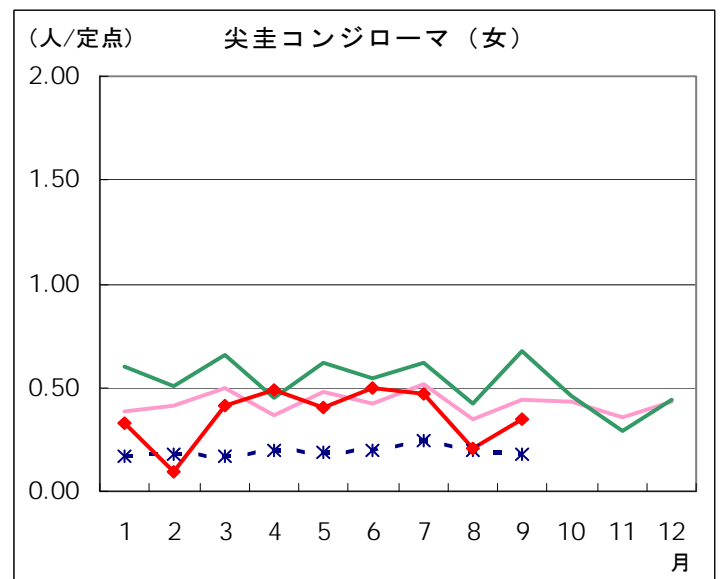
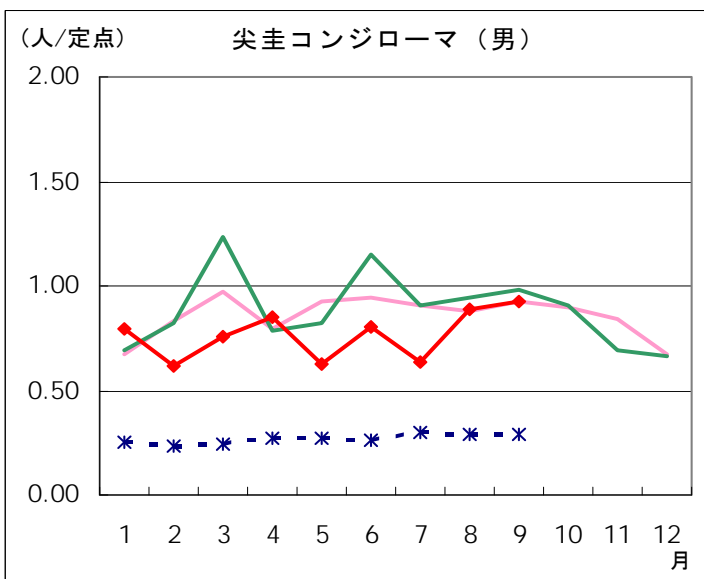
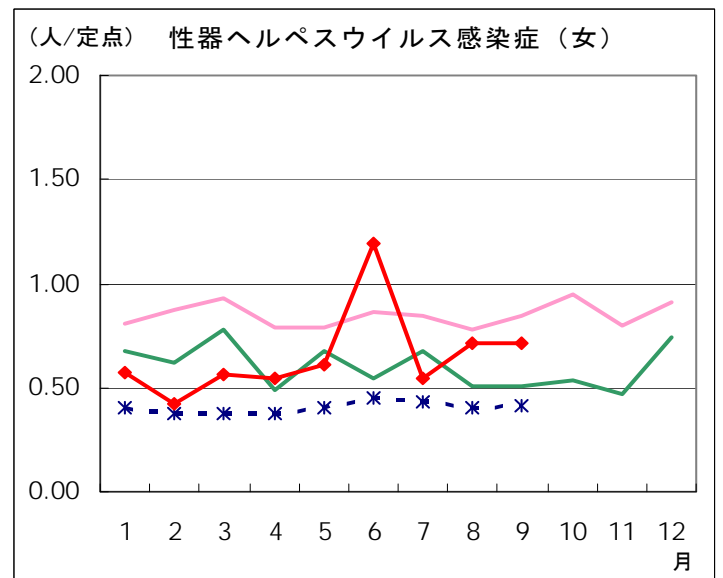
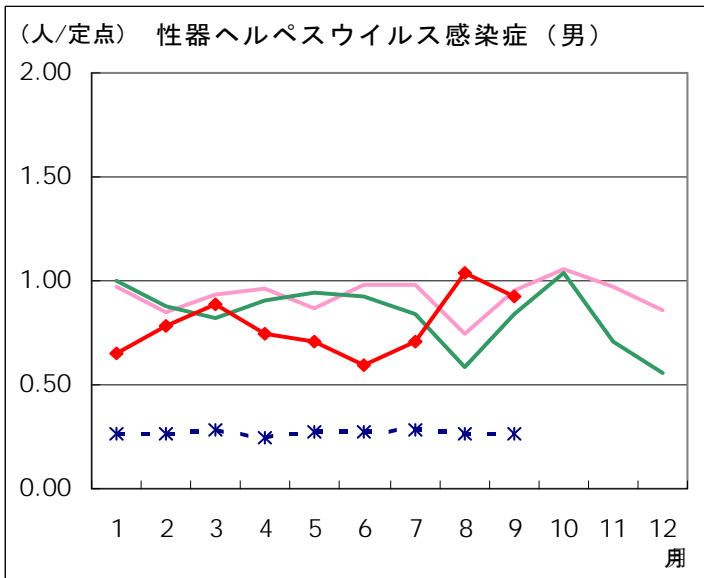
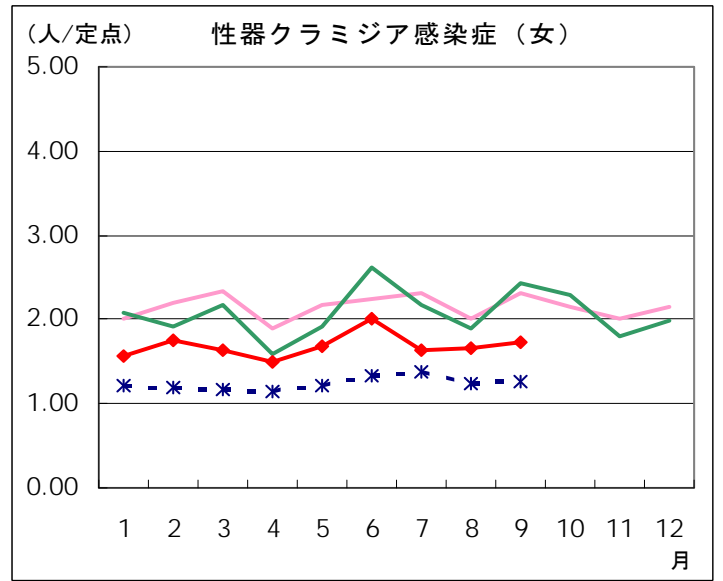
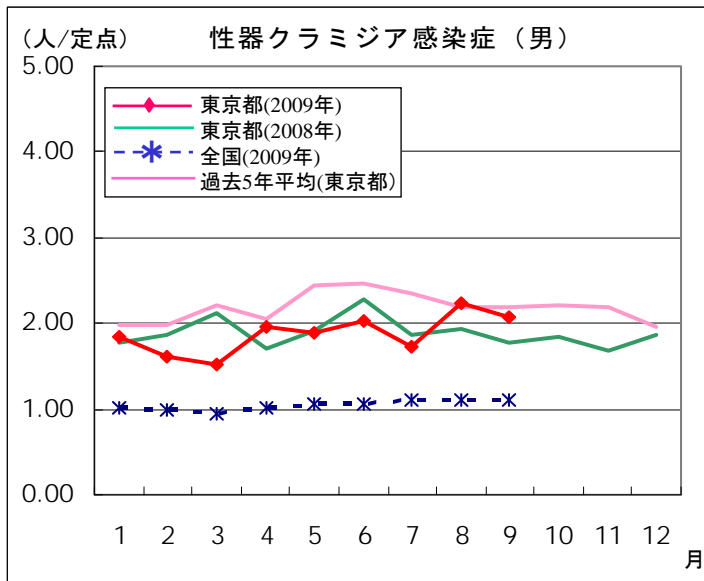
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2009年9月

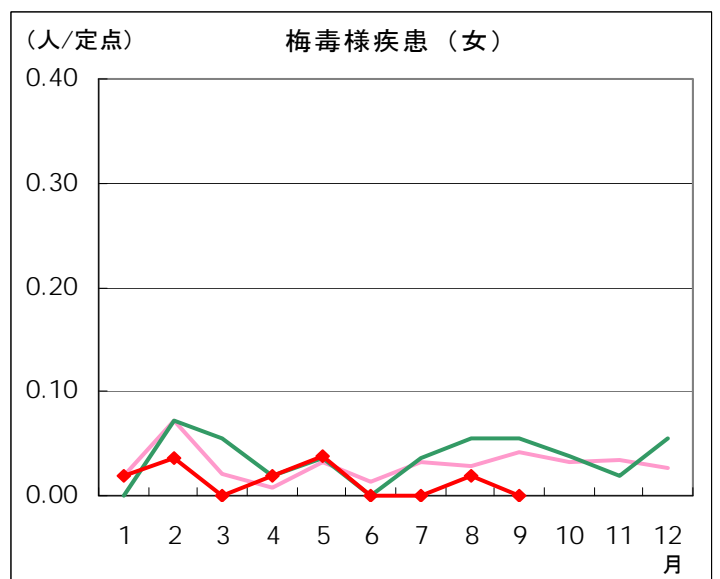
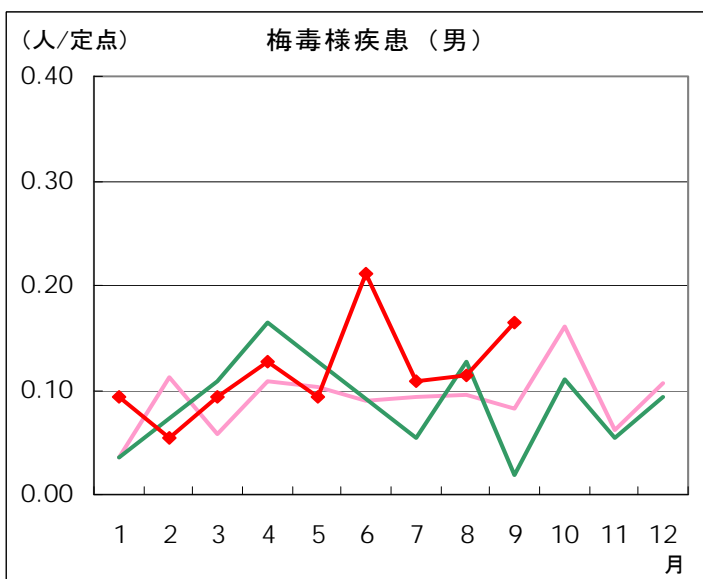
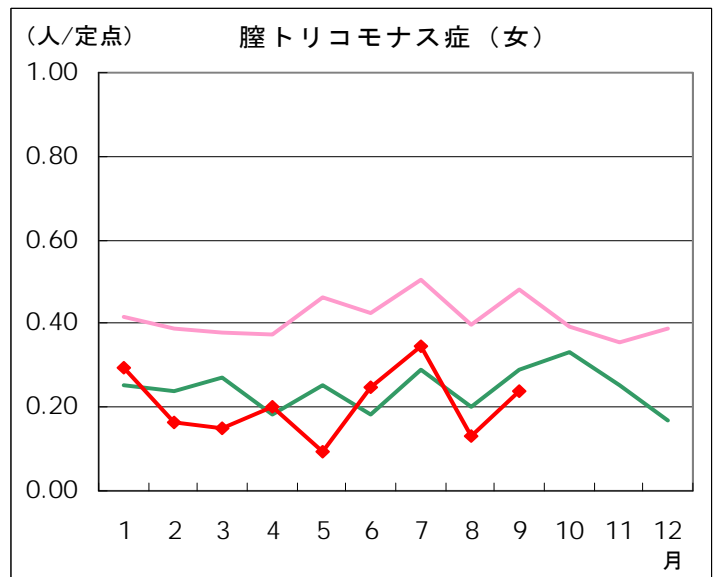
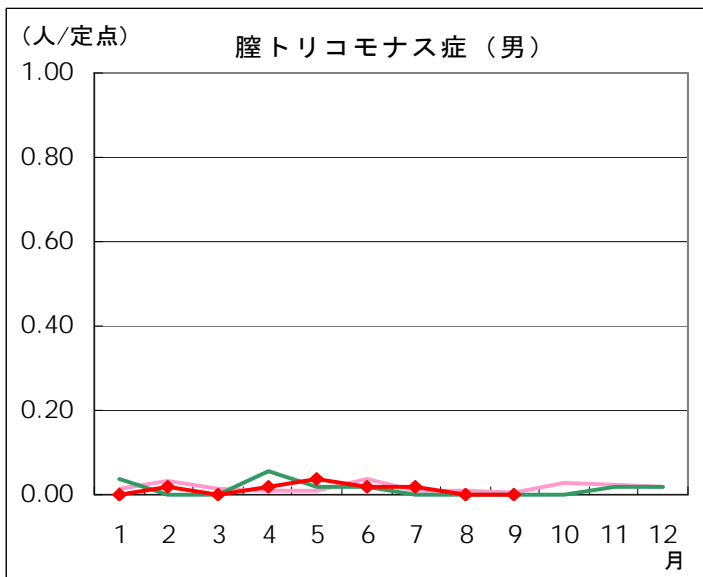
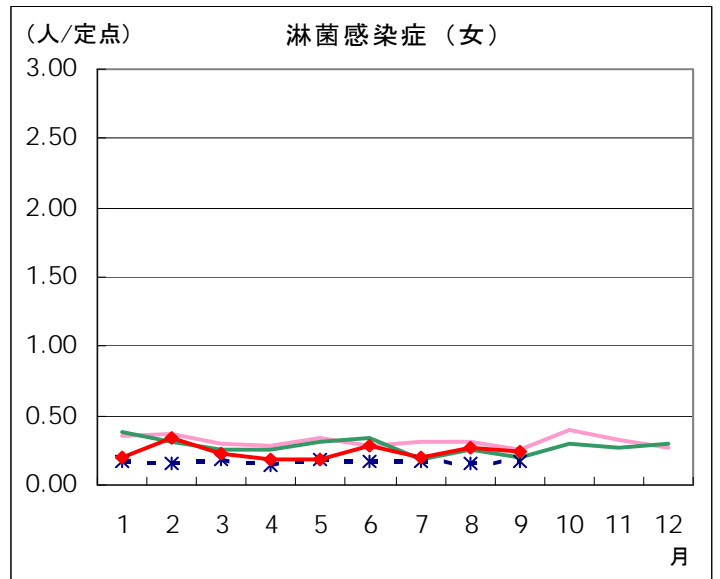
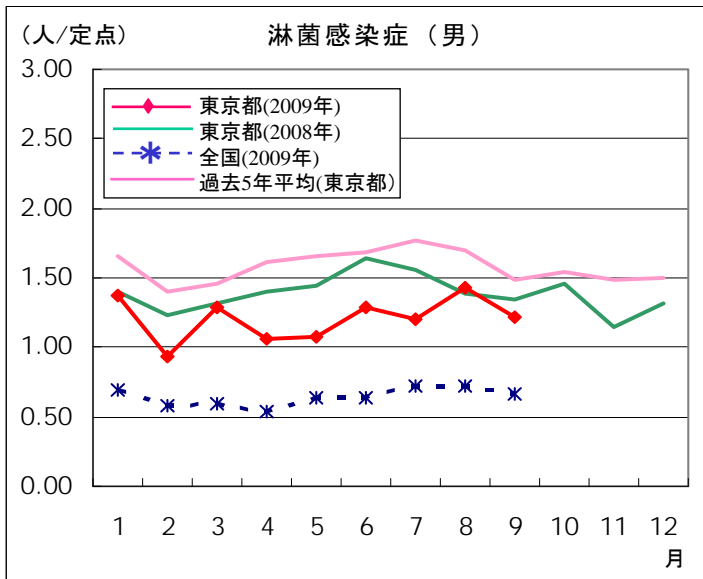
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	5	1	6	7		1
中央区	3	5					
みなの	2	10	19	5	5		1
新宿区	7	28	12	29	19		4
文京	1	3	1		3		
台東	2						
墨田区	2	4	2	1			
江東区	2	13	5	2	9		
品川区	1	1	1		3		
大田区	2	1			1		
渋谷区	5	9	5	1	3		
中野区	2	3			4		1
杉並	2	1					
池袋	3	15	4	6	8		2
北区	1	1		1			
荒川区	1						
板橋区	2				1		
足立	2	7			1		
江戸川	2	6			3		
八王子市	4						
町田	1						
多摩立川	2	1					
多摩府中	3	1					
多摩小平	1		1				
合 計	55	114	51	51	67		9
定点当たり		2.07	0.93	0.93	1.22		0.16

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2						
中央区	3	6	1		1		
みなの	2	6	6	1	2		
新宿区	7	9	6	8	4		
文京	1						
台東	2	3	2				
墨田区	2		1	2			
江東区	2	3	4				
品川区	1						
大田区	2	4					
渋谷区	5	2	5	5		1	
中野区	2	3		1		1	
杉並	2				1	1	
池袋	3	12	2		4		
北区	1						
荒川区	1	1	2		1		
板橋区	2	8				1	
足立	2						
江戸川	2	11	1	1		3	
八王子市	4	7	2	1		3	
町田	1	1	1			2	
多摩立川	2	19	5				
多摩府中	3						
多摩小平	1		1			1	
合 計	55	95	39	19	13	13	
定点当たり		1.73	0.71	0.35	0.24	0.24	

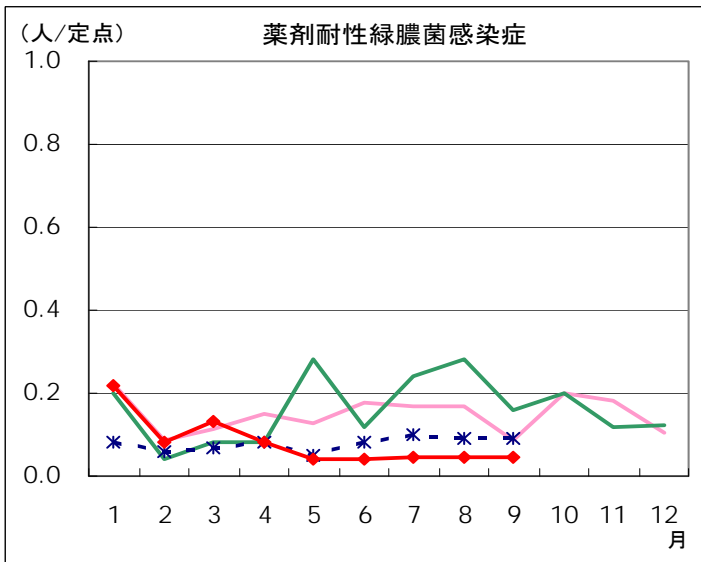
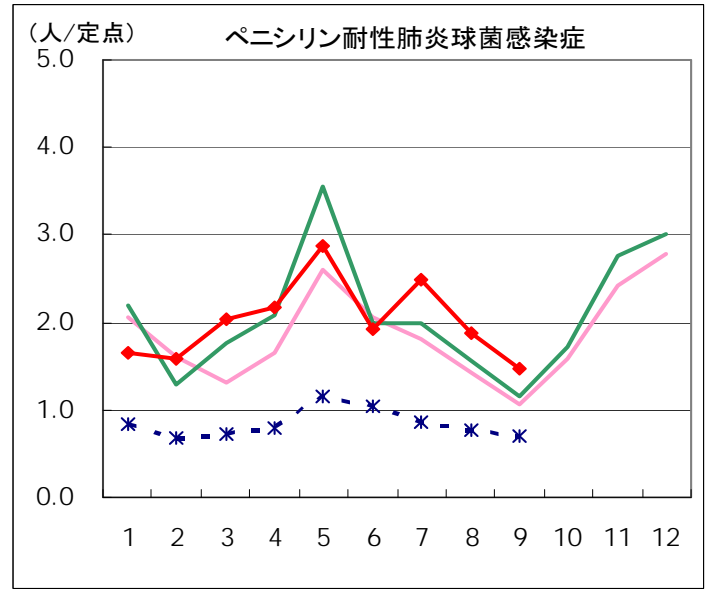
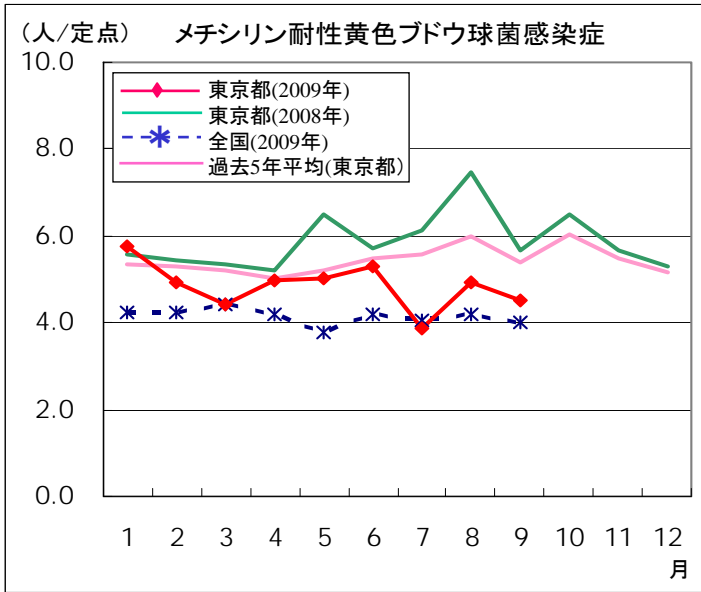
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2009年9月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
9/2	尿道炎	59	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子 分離同定
9/2	外陰部ヘルペス	60	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス1型	遺伝子
9/3	尿道炎	30	男	尿	クラミジア	
9/7	外陰部ヘルペス	65	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス1型	
9/7	陰茎コンジローマ	27	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス11型	遺伝子
9/8	尿道炎	26	男	尿	クラミジア、淋菌	
9/9	尿道炎	35	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、髄膜炎菌	
9/9	尿道炎	43	男	尿	クラミジア	遺伝子
9/10	尿道炎	22	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
9/10	尿道炎	40	男	尿	クラミジア	
9/10	尿道炎	43	男	尿	クラミジア	
9/28	陰茎ヘルペス	43	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス1型	分離同定
9/29	尿道炎	23	男	尿	<i>Candida albicans</i>	
9/29	尿道炎	33	男	尿	クラミジア	遺伝子
9/29	陰茎コンジローマ	30	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス6型	
9/30	尿道炎	50	男	尿	クラミジア	
9/30	尿道炎	36	男	尿	淋菌	遺伝子 分離同定
9/30	尖圭コンジローマ	42	男	その他	ヒトパピローマウイルス6型	遺伝子